

兵庫県立大学 先端医療工学研究所 訪問記録

1. 実施日時 2025 年 7 月 29 日
2. 住所 姫路市神屋町 3 丁目 264 番地
3. 参加者数 15 名



4. スケジュール

- 12 : 30 ~ 14 : 00 オリエンテーション・グループワーク・AI 研究紹介
- 14 : 05 ~ 14 : 35 研究所施設見学（班に分かれて）
- 14 : 35 ~ 15 : 10 大学院生による研究説明（班に分かれて）
- 15 : 10 ~ 15 : 20 振り返り

5. 活動報告

高校 2 年生のラボ訪問の一環として、先端医療工学研究所の見学を行いました。15 名が訪問して、医療と工学との繋がりや医療における AI の役割、研究における重要なサイクルなど、小橋所長によるご説明を受けた後、研究所施設の見学や大学院生による研究のご説明を受け質疑応答をさせていただきました。

6. 生徒の感想

今回のラボ訪問で印象に残ったことが 2 つあります。1 つ目は、探究活動はとても重要だということです。なぜなら、勉強ができるかはテストや学歴で確認できるため、勉強で学んだことを社会のためにどう生かすことができるかを知るには探究活動が重要になるからです。そのため、今行っている探究活動を失敗からより多く学べるものにしたいです。2 つ目は、工学の技術は未来の医療を変えられるということです。医療とは、多くの人に効く術を手の届く範囲の人に施すことでした。一方で、工学とは、どんな医師でも上手くいくものを作り、未来の多くの患者を助けるものであるとのことでした。私は、将来間接的にでも人の役に立っている研究を行う研究者になりたいと考えているため、大変興味を持ちました。

この研究所では病院の医療関係者や企業と連携しており、医療系のニーズを発見しやすい良い環境だと感じました。これからは紹介していただいたサイトで AI について勉強してみようと思います。

7. 活動風景

全体説明の様子



施設見学の様子



研究説明の様子

